

IP Flow Manager シリーズ 3つの特徴

知的財産権統合戦略 ソリューションシステム

IP Flow Manager (IPFM)は、企業の知的財産権情報戦略に必要なあらゆる情報を一元管理するソリューションシステムです。

IPFMは、企業内に散在する知的財産権情報を統括することにより、アイデア創出から知財に関連する生産情報管理、知財技術動向の解析まで、企業の知的財産戦略情報としての価値を最大限に高めます。

1

あらゆるデータの一元管理を可能に

社内に散在する情報をIPFMに統合し、特許技術動向の把握や特許価値の算出が可能になります。グループ会社の統合管理や特許事務所との連携も可能で、データの一元管理もより容易になります。

国内外の四法に対応したデータの管理を

国内、外国はもちろん、特許、実用新案、意匠、商標を問わず全ての案件を管理できます。
更にこれら全ての各種期限の自動計算、期限の管理も可能です。

電子包袋データの管理を

インターネット出願ソフトで出願した電子包袋データをIPFMに取り込むことができます。
企業・特許事務所の双方から簡単に取込み可能であり、業務の効率と品質が向上します。

発明者に価値のある機能の提供を

グループ会社の統合管理を

2

自由度の高いインターフェースを提供

IPFMは普段から慣れ親しんでいるWebブラウザで利用できます。WebブラウザのインターフェースにはExtJSフレームワークを採用し、一歩先を進んだアプリケーションを体験できます。

業務に応じたポータルページを

ユーザの業務や好みによってポータルページの機能を自由に配置できます。あるユーザは期限管理をトップに、あるユーザはスケジュールをトップに…という要望もユーザ毎に自由に設定できます。

案件ファミリーの視覚化を

案件作成を行うとファミリーも自動で構築します。
作ったファミリーは親子関係をイメージ表示可能。複雑な出願経路を俯瞰することができます。

ワークフロー定義に自由度を

管理情報の視覚化を

3

使い続けられる安心感

IPFMは機能面の標準バージョンアップに加え、システム面のバージョンアップにも対応しています。一度導入すれば安心して使い続けることができます。

標準バージョンアップ

年2回のバージョンアップを実施しています。
新機能の追加や、ご利用ユーザ様からのフィードバックを元にした改善や便利機能などの追加、法改正にも保守の範囲で対応します。

システムのバージョンアップ

クライアントPCのOSバージョンアップや、IPFM動作サーバのOSやミドルウェアのバージョンアップも標準で対応しています。
システムのバージョンアップにより新しく導入し直す必要がないため、無駄な手間・費用は発生しません。

企業様の要望に応じた環境の提供

多言語への対応